

二の丸御殿を想像する

ここは城内にあった 3 つの行政・居住施設（御殿）のうちの一つである二の丸御殿があった場所だ。平時は人が少ない天守とは対照的に、御殿は活動の中心地であった。御殿には、城主の居住スペースや、事務所、会議室などがあった。二の丸御殿は、二の丸の建坪約 1,980 平方メートルに約 50 の部屋があり、御殿としては 2 番目に大きな建物である。二の丸御殿はもともと本丸御殿の付属的な建物であった。1727 年に本丸御殿が焼失した後、城の主要な住居と行政の拠点となった。二の丸御殿も 1876 年に焼失し、1979 年の発掘調査が行われた。現在では建物の配置が石碑に記されている。草地は畳敷きの部屋、赤い石畳は縁側や板敷きの部屋を示している。二の丸御殿は、建物の南側にある式台の板の間から入ったと思われる。